画像サイズを変える（リサイズ）

撮影した静止画像のサイズを、次の3種類のサイズに変えることができます。

1600 ×1200 pixelsのUXGAサイズ
1280 × 960 pixelsのSXGAサイズ
640 × 480 pixelsのVGAサイズ

- VGAサイズの画像は、メールに添付する画像やホームページに貼り付ける画像に最適です。

1. **PLAYモードにして【MENU】を押します。**

2. **“再生機能”タブ→“リサイズ”と選び、【▶】を押します。**



3. **【◀】【▶】でサイズを変えたい画像を表示させます。**

4. **【▲】【▼】でリサイズ内容を選び、【SET】を押します。**

1600 ×1200 ：1600×1200pixelsのUXGAサイズに変えます。
1280 × 960 ：1280×960pixelsのSXGAサイズに変えます。
640 × 480 ：640×480pixelsのVGAサイズに変えます。
キャンセル ：リサイズを中止します。

重要!
- リサイズした画像は、リサイズする前の画像とは別に最新ファイルとして保存されます。
- 画像サイズが640×480pixels以下の画像はリサイズできません。
- 画像サイズが2560×1712(3:2)pixels(QV-R51)や2240×1488(3:2)pixels(QV-R41)の画像はリサイズできません。
- このカメラで撮影した画像以外の画像は、リサイズできません。
- “このファイルではこの機能は使用できません”と表示された場合は、リサイズできません。
- リサイズした画像を保存できるだけメモリー容量が残っていない場合は、リサイズできません。
- リサイズした画像をカメラで表示した場合、日付はリサイズした日付ではなく、撮影した日付が表示されます。

画像の一部を切り抜く（トリミング）

拡大した画像から必要な箇所を切り抜いて、メールに添付する画像やホームページに貼り付ける画像などの構図を整えることができます。

1. **PLAYモードにして、【◀】【▶】でサイズを変えたい画像を表示させます。**

2. **【MENU】を押します。**

3. **“再生機能”タブ→“トリミング”と選び、【▶】を押します。**
- 画面に画像を切り抜くための枠が表示されます。



4. **【ズームレバー】を操作して、枠を拡大／縮小します。**
- 表示されている画像のサイズによって、トリミングできる枠の大きさが変わります。

5. **【▲】【▼】【◀】【▶】で切り抜きたい部分を枠で囲みます。**

6. **【SET】を押します。**
- トリミングを中止する場合は【MENU】を押します。

重要!
- トリミングした画像は最新ファイルとして保存されます。
- 画像サイズが小さいほど、トリミングできる枠の大きさが限定されます。
- 画像サイズが640×480pixelsの画像では、枠は拡大／縮小できません。
- トリミングしても、トリミングする前の画像は残っています。
- 画像サイズが2560×1712(3:2)pixels(QV-R51)や2240×1488(3:2)pixels(QV-R41)の画像はトリミングできません。
- 動画はトリミングできません。
- このカメラで撮影した画像以外の画像は、トリミングできません。
- “このファイルではこの機能は使用できません”と表示された場合は、トリミングできません。
- トリミングした画像を保存できるメモリー容量が残っていない場合は、トリミングできません。
- トリミングした画像をカメラで表示した場合、日付はトリミングした日付ではなく、撮影した日付が表示されます。

動画を再生する

ムービーモードで撮影した動画を再生することができます。

1. **PLAYモードにして、【◀】【▶】で再生したい動画を表示させます。**

動画アイコン



2. **【SET】を押します。**
- 動画が再生されます。
- 動画再生中に、次のような操作ができます。

早戻し／早送りする .... 【◀】【▶】を押し続ける
再生と一時停止を切り替える ...... 【SET】を押す
一時停止中にコマ送りする .... 【◀】【▶】を押す
再生を中断する .... 【MENU】を押す

重要!
- 動画を連続して再生することはできません。再度再生したいときは、もう一度、上の操作を行ってください。

1つの画面に9つの画像を表示する

撮影した内容を9つまで同時に一覧表示させることができます。

1. **PLAYモードにします。**

2. **【ズームレバー】を“▦”側に1回スライドさせます。**
- 9つの画像が表示され、最初に表示されていた画像は、枠が付いた状態で中央に表示されます。
- 画像の総数が9枚以下の場合は、左上から順に画像が表示されます。枠は1枚目の画像に付きます。
- 【◀】または【▶】を押して、枠が画面の左端または右端まで行くと、次の9枚を表示します。

例：画像の総数が20枚で、1番目の画像を最初に表示していた場合

17	18	19
20	1	2
3	4	5

→ ←

6	7	8
9	10	11
12	13	14

→ ←

15	16	17
18	19	20
1	2	3

3. **【▲】【▼】【◀】【▶】で画像を見ていきます。**

4. **【▲】【▼】【◀】【▶】以外のボタンを押すと、9画面表示は終了します。**

目当ての画像を素早く表示する

1. **9画面表示に切り替えます。**

2. **【▲】【▼】【◀】【▶】で目当ての画像に枠を移動します。**

枠



3. **【▲】【▼】【◀】【▶】以外のボタンを押します。**
- 目当ての画像が1枚で表示されます。



カレンダー表示をする

1ヶ月分のカレンダー表示の日付上に、その日に撮影した最初の画像を表示させることができ、見たい画像を素早く探すことができます。

1. **PLAYモードにして、【▲】（ ）を押します。**

2. **【▲】【▼】【◀】【▶】で目当ての画像に枠を移動します。**
- 年／月の表示は“表示スタイル”の設定（99ページ）に従って表示されます。
- 各日付上にその日に撮影した最初の画像が表示されます。



枠 *年／月*

- 枠が上端にあるとき【▲】を押すと、前の月の画面に移ります。
- 枠が下端にあるとき【▼】を押すと、次の月の画面に移ります。
- カレンダー表示を終えるには、【MENU】を押します。
- このカメラで表示できないデータの場合は?が表示されます。

3. **見たい画像に枠を移動させたら、【SET】を押します。**
- その日に撮影した最初の画像が表示されます。

画像を自動的にページめくりさせる(スライドショー)

撮影した内容を自動的に次々とページめくりさせる機能(スライドショー)です。ページめくりの間隔を設定することもできます。



1. PLAYモードにして【MENU】を押します。

2. “再生機能”タブ→“スライドショー”と選び、【▶】を押します。

3. 各設定項目を設定します。各設定方法については、下記をご覧ください。

表示画像............「表示画像を設定する」(77ページ)
時間....................「時間を設定する」(78ページ)
間隔....................「間隔を設定する」(78ページ)

4. 【▲】【▼】で“開始”を選び、【SET】を押します。

5. 【SET】を押すと、スライドショーが終了します。
- “時間”で設定した時間が経過すると自動的に終了します。

重要!
- 画面の切り替り中はボタン操作が効かなくなります。画面が静止している時にボタン操作をしてください。ボタンが効かない場合はしばらくボタンを押し続けてください。
- 動画は、自動的に1回再生します。
- パソコンからコピーした画像や、他のデジタルカメラの画像では、設定した間隔より長くなる場合があります。

表示画像を設定する

1. 【▲】【▼】で“表示画像”を選び、【▶】を押します。

2. 【▲】【▼】で表示内容を選び、【SET】を押します。

全画像　　：メモリー内にある全てのファイルを表示します。
1枚画像　 ：ファイルを一枚のみ選んで表示します。
お気に入り：お気に入りフォルダ(119ページ)にあるファイルを表示します。

3. 【▲】【▼】で“開始”を選び、【SET】を押します。
- スライドショーが始まります。

■ 1枚画像について

“1枚画像”では一枚のみ画像を選んで表示することができます

1. 【▲】【▼】で“1枚画像”を選び、【▶】を押します。

2. 【◀】【▶】で目的の画像を表示させます。

3. 【SET】を押すと、設定を確定してメニュー画面に戻ります。
- 【MENU】を押すと設定をキャンセルしてメニュー画面に戻ります。



時間を設定する

1. 【▲】【▼】で“時間”を選びます。

2. 【◀】【▶】で再生したい時間を選び、【SET】を押します。
- 時間は1～60分の間で指定できます。

3. 【▲】【▼】で“開始”を選び、【SET】を押します。
- スライドショーが始まります。

間隔を設定する

1. 【▲】【▼】で“間隔”を選びます。

2. 【◀】【▶】でスライドショーの間隔を選び、【SET】を押します。
- 間隔は“最速”と1～30秒の間で指定できます。
- 間隔を“最速”に指定したとき、動画は先頭のコマのみを再生します。

3. 【▲】【▼】で“開始”を選び、【SET】を押します。
- スライドショーが始まります。

回転表示させる

画像の回転情報(向き)を画像ファイルに書き込むことができます。再生時には回転情報をもとに画像を表示することができます。縦置きで撮影した画像や、回転させたい画像に使用すると便利です。

1. PLAYモードにして【MENU】を押します。

2. “再生機能”タブ→“回転表示”と選び、【▶】を押します。

3. 【◀】【▶】で回転させたい画像を表示させます。

4. 【▲】【▼】で“回転”を選び、【SET】を押します。
- “回転”を選んだ状態で【SET】を押すたびに、90°ごとに右まわりに回転します。



5. 【MENU】を押して、設定を終了します。

重要!
- メモリープロテクトをかけたファイルは、回転することはできません。メモリープロテクトを解除してから操作してください。
- 他のデジタルカメラで撮影した画像では、回転できない場合があります。
- 動画は回転表示できません。

画像ルーレット機能を使う

カメラ内の画像を【液晶モニター】でルーレットのように送りながら1枚の画像を選択していく機能です。画像ルーレットがスタートすると画像はランダムに選択されて送られます。最初は速く送り、徐々に送る速度をゆるめていき、最後に1枚の画像を選択して止まります。最後に選択される画像がどれになるかはわかりません。全く規則性がありません。

1. 電源が切れている状態で、【◀】を押したまま【▶】(PLAY)を押して電源を入ます。
- 【◀】は【液晶モニター】が表示されるまで押し続けてください。
- 画像ルーレットが開始され、最後に1枚の画像が選択され止まります。

2. 【◀】【▶】を押すと、画像ルーレットを再開します。

3. 【📷】(REC)を押してRECモードにするか、【電源ボタン】を押して電源を切ると、画像ルーレット機能は終了します。

重要!
- 動画は画像ルーレットの対象となりません。
- 静止画が1枚だけの場合は、画像ルーレット機能に入りません。
- カメラで撮影した画像がルーレットの対象となります。他の画像が入っていると、画像ルーレット機能が動作しない場合があります。
- 画像が停止してから約1分以上、次の画像ルーレットを開始しないと、通常のPLAYモードになります。

消去する

ファイルを消去する方法には次の２つの方法があります。

1ファイル ：ファイルを1ファイルずつ消去する。
全ファイル：すべてのファイルを消去する。

重要!
- 一度消去してしまった記録内容は、二度と元に戻すことはできません。消去の操作を行う際は、本当に不要なファイルかどうかをよく確かめてから行ってください。特に全ファイル消去の操作では、記録したすべての内容を一度に消去してしまいますので、内容をよく確かめてから操作してください。
- メモリープロテクトのかかったファイルは消去できません。メモリープロテクトを解除してから操作してください(84ページ)。
- すべてのファイルがメモリープロテクト(85ページ)されている状態では、消去は実行できません。

1ファイルずつ消去する

表示されているファイルを1ファイルずつ消去することができます。

1. **PLAYモードにして【▼】(⚡ 🗑)を押します。**



2. **【◀】【▶】で消去したいファイルを表示させます。**

3. **【▲】【▼】で"消去"を選びます。**
- 消去を中止したいときは、"キャンセル"を選んでください。

4. **【SET】を押して、表示しているファイルを消去します。**
- 手順2～4を繰り返して、他のファイルを消去することができます。

5. **【MENU】を押して、消去操作を終了します。**

重要!
- 消去できないファイルを消去しようとすると、"このファイルではこの機能は使用できません"と表示されます。

全ファイルを消去する

すべてのファイルを消去することができます。

1. **PLAYモードにして【▼】(⚡ 🗑)を押します。**

2. **【▲】【▼】で"全ファイル消去"を選び、【SET】を押します。**

3. **【▲】【▼】で"はい"を選びます。**
- 消去を中止したいときは、"いいえ"を選んでください。

4. **【SET】を押して、すべてのファイルを消去します。**
- すべてのファイルが消去されると、"ファイルがありません"と表示されます。

ファイルの管理について

本機では画像の撮影や再生の他、画像プリント時の枚数指定等やファイルの消去防止の設定ができます。

フォルダの分類について

本機は内蔵メモリーやメモリーカード内に、フォルダ(ディレクトリ)を自動的に作成します。

メモリー内のフォルダ／ファイルについて

撮影した画像は連番を名前としたフォルダの中に自動的に記録されます。フォルダは最大900作成されます。フォルダ名は次の通りです。

例：連番100のフォルダ名

100CASIO
連番(3桁)

各フォルダには最大9,999番までのファイルが登録できます。10,000枚以上撮影した場合は、次の連番のフォルダが自動的に作成されます。ファイル名は次の通りです。

例：26番目に記録したファイル名

CIMG0026.JPG
拡張子
連番(4桁)

- 保存できるフォルダ数、ファイル数は画質やメモリーカードの容量によって異なります。
- 詳しいディレクトリ構造に関しては「メモリー内のディレクトリ構造」(119ページ)をご覧ください。

記録したファイルにメモリープロテクト(消去防止)をかける

大事なファイルを誤って消去してしまうことを防止する機能(メモリープロテクト)がついています。メモリープロテクトをかけたファイルは、消去操作(81ページ)により消去することはできません。メモリープロテクトのかけかたには、1ファイル単位、全ファイルの2通りがあります。

1ファイル単位でメモリープロテクトをかける

1. **PLAYモードにして【MENU】を押します。**

2. **"再生機能"タブ→"プロテクト"と選び、【▶】を押します。**

3. **【◀】【▶】でメモリープロテクトをかけたいファイルを表示させます。**

4. **【▲】【▼】で"オン"を選び、【SET】を押します。**
- メモリープロテクトがかかり、🔑が画面上に表示されます。
- メモリープロテクトを解除するときは、"オフ"を選んでください。



5. **【MENU】を押して、メモリープロテクトを終了します。**

全ファイルにメモリープロテクトをかける

1. PLAYモードにして【MENU】を押します。

2. “再生機能”タブ→“プロテクト”と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で“全ファイル　オン”を選び、【SET】を押します。
- メモリープロテクトを解除するときは、“全ファイル　オフ”を選んでください。

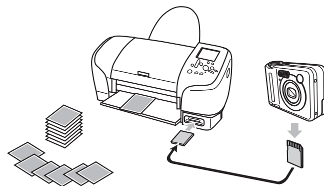
4. 【MENU】を押して、メモリープロテクトを終了します。

DPOF機能について

DPOF(Digital Print Order Format)とはデジタルカメラで撮影した中からプリントしたい画像や枚数などの設定情報をメモリーカードなどの記録媒体に記録するためのフォーマットです。DPOF対応の家庭用プリンターやサービスラボでプリントすることができます。
本機では撮影された画像ファイル名などを意識することなく、【液晶モニター】で確認しながらプリントしたい画像の設定を行うことができます。



- 設定可能な内容
  画像／枚数／日付



1画像単位で印刷設定を行う

1. PLAYモードにして【MENU】を押します。

2. “再生機能”タブ→“DPOF”と選び、【▶】を押します。



3. 【▲】【▼】で“選択画像”を選び、【▶】を押します。

4. 【◀】【▶】で印刷したい画像を表示させます。



5. 【▲】【▼】で印刷する枚数を決めます。
- 印刷設定できる枚数は99枚までです。印刷したくない場合は“00”にしてください。

6. 日付を印刷したい場合は、【DISP】を押してを表示させます。
- は日付印刷が設定されたことを表します。
- 日付が不要なときは、【DISP】を押してを消してください。
- 他の画像を印刷する場合は、操作4～6をくり返してください。

7. 【SET】を押します。
- 印刷する枚数が設定されます。

全画像に印刷設定を行う

1. PLAYモードにして【MENU】を押します。

2. “再生機能”タブ→“DPOF”と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で“全画像”を選び、【▶】を押します。

4. 【▲】【▼】で印刷する枚数を決めます。
- 印刷設定できる枚数は99枚までです。印刷したくない場合は“00”にしてください。



5. 日付を印刷したい場合は、【DISP】を押してを表示させます。
- は日付印刷が設定されたことを表します。
- 日付が不要なときは、【DISP】を押してを消してください。

6. 【SET】を押します。
- 印刷する枚数が設定されます。

重要!
- お店にプリントを注文する場合は、注文時に「DPOFでプリントする画像、枚数、日付を設定済みです」とお伝えください。お伝えいただかないと、すべての画像がプリントされてしまうことがあります。
- プリントをするお店によってはDPOF機能に対応していない場合がありますので、あらかじめご確認ください。
- プリンターによっては日付の設定が無効になったり、DPOFに対応していない場合がありますので、プリンターの取扱説明書に従ってください。

PRINT Image MatchingⅡについて

本製品はPRINT Image MatchingⅡに対応しています。PRINT Image MatchingⅡ対応プリンタでの出力及び対応ソフトウエアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。



PRINT Image Matching及びPRINT Image MatchingⅡに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

Exif Printについて

Exif Print (Exif2.2) は、対応プリンタをお使いの場合に画像ファイルに記録された撮影情報を印刷出力に反映させることを可能にします。



重要!
- 対応プリンタの機種名やプリンタのバージョンアップ等については、各プリンタメーカーへお問い合わせください。

USB DIRECT - PRINTについて

本製品はセイコーエプソン株式会社提唱のUSB DIRECT - PRINTに対応しています。本製品はUSB DIRECT - PRINT対応プリンタに直接接続し、デジタルカメラのモニタ上で写真選択や印刷開始を指示することができます。



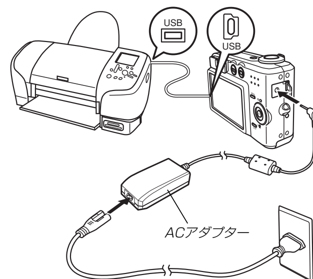
DPOF機能(85ページ)にて登録した情報をもとに、本機をUSB DIRECT - PRINT対応プリンタにUSBケーブルを介して接続するだけで、印刷することができます。

重要! • USB DIRECT-PRINTで印刷する場合、別売のACアダプター(AD-C30)を使用することをおすすめします。

1. DPOF機能(86ページ)で、印刷したい画像をあらかじめ指定します。

2. カメラに別売のACアダプターを接続して、カメラに電源を供給します。

- 電池を使用する場合は、バッテリー残量が十分な電池をカメラにセットしてください。
- USBケーブルからは電源は供給されません。



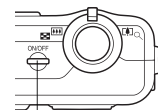
3. カメラに付属のUSBケーブルでカメラとプリンタを接続します。

4. プリンタの電源を入れます。

5. プリンタの印刷用紙をセットします。

6. カメラの【電源ボタン】を押します。

- カメラにプリントメニューが表示されます。





7. カメラのプリントメニューから"プリント"を選び、【SET】を押します。

- DPOF機能で指定した画像が自動的に印刷されます。
- もう一度印刷する場合は、【電源ボタン】を押し直してください。
- DPOFの設定をしていない場合はメッセージが表示され、DPOFの設定画面(86ページ)が表示されます。このときは、DPOFの設定を行ってから、もう一度プリントの操作を行ってください。
- カメラのプリントメニューで"DPOF"を選び、【SET】を押すとDPOFの設定ができます(86ページ)。

8. 印刷が終了したら電源が切れますので、カメラをはずしてください。

重要!
- 印刷品位や用紙の設定についてはプリンタの取扱説明書をご覧ください。
- 対応プリンタの機種名やプリンタのバージョンアップ等については、プリンタメーカーへお問い合わせください。
- 印刷中はケーブルを抜いたり、カメラの操作を行わないでください。プリンタがエラーを起すことがあります。
- 印刷を中止したいときは、プリンタ側で操作してください。
- 印刷中でも、しばらくするとカメラの【液晶モニター】が消えます。このとき印刷が終了したとは限りません。印刷の終了はプリンタ側で確認してください。

お気に入りフォルダを使う

記録した思い出の風景や家族の写真など好きな静止画を「記録フォルダ」(119ページ)から内蔵メモリーの「お気に入りフォルダ("FAVORITE"フォルダ)」(119ページ)にコピーすることができます。通常の再生では表示されないので、プライベートな画像を持ち歩くのに便利です。メモリーカードを入れ替えても画像は消えませんので、いつでも見ることができます。

お気に入りフォルダにファイルをコピー(登録)する

1. PLAYモードにして【MENU】を押します。

2. "再生機能"タブ→"お気に入り"と選び、【▶】を押します。



3. 【▲】【▼】で"登録"を選び、【SET】を押します。

- 内蔵メモリーまたはメモリーカード内のファイル名が表示されます。



4. 【◀】【▶】で、お気に入りフォルダに登録したいファイルを選びます。

5. 【▲】【▼】で"登録"を選び、【SET】を押します。

- 内蔵メモリー内のお気に入りフォルダにファイルを登録します。

6. 設定を終えるには【▲】【▼】で"キャンセル"を選び、【SET】を押します。

参考
- 画像は、320×240pixelsのQVGAサイズにリサイズしてコピーされます。
- 登録したファイルには、連番(0001～9999)がファイル名として自動的に付けられます。ただし、登録できるファイル数は画質等により異なり、内蔵メモリーの空き容量の範囲内となります。

重要! • お気に入りフォルダにリサイズしてコピーされたファイルは、元の画像サイズに戻すことはできません。

お気に入りフォルダのファイルを表示する

1. PLAYモードにして【MENU】を押します。

2. "再生機能"タブ→"お気に入り"と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で"表示"を選び、【SET】を押します。

4. 【◀】【▶】で、お気に入りフォルダに登録したファイルを見ていきます。

【▶】を押す：進みます。
【◀】を押す：戻ります。



5. 表示を終えるには、【MENU】を2回押します。

参考 • 【◀】【▶】を押し続けると、画像は早く送られます。

重要! • お気に入りフォルダ("FAVORITEフォルダ")は内蔵メモリーにのみ作成されるため、パソコン上でお気に入りフォルダのファイルを表示するときは、カメラからメモリーカードを取り出した状態で、USB通信を行ってください(108、119ページ)。

お気に入りフォルダから1ファイルずつ消去する

1. PLAYモードにして【MENU】を押します。

2. "再生機能"タブ→"お気に入り"と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で"表示"を選び、【SET】を押します。

4. 【▼】(⚡ 🗑)を押します。

5. 【◀】【▶】で、お気に入りフォルダから消去したいファイルを選びます。

6. 【▲】【▼】で"消去"を選び、【SET】を押します。

- 消去を中止したいときは"キャンセル"を選んでください。

7. 消去を終えるには【▲】【▼】で"キャンセル"を選び、【SET】を押します。

重要! • お気に入りフォルダのファイルは、81ページの消去操作により消去することはできません。ただし、フォーマット操作(102ページ)を行うと、消去されてしまいます。

お気に入りフォルダの全ファイルを消去する

1. PLAYモードにして【MENU】を押します。

2. “再生機能”タブ→“お気に入り”と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で“表示”を選び、【SET】を押します。

4. 【▼】(⚡🗑)を押します。

5. 【▲】【▼】で“全ファイル消去”を選び、【SET】を押してすべてのファイルを消去します。

重要! • お気に入りフォルダのファイルは、81ページの消去操作により消去することはできません。ただし、フォーマット操作(102ページ)を行うと、消去されてしまいます。

その他の設定について

ファイルの連番のカウント方法を切り替える

撮影時にファイル(画像データ)に付く連番(83ページ)のカウント方法を切り替えることができます。

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。

2. “設定”タブ→“ファイルNo.”と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。

メモリする　：今まで撮影したファイルの連番を記憶します。ファイルを消去したり、メモリーカードを交換しても、記憶した連番からファイル名を付けます。

メモリしない：ファイルの連番は記憶せずに、最大の連番＋1からファイル名を付けます。

操作音のオン／オフを切り替える

操作音(BEEP音)のオン／オフを切り替えることができます。

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。

2. “設定”タブ→“操作音”と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。

入：操作音が鳴ります。

切：操作音は鳴りません。

起動画面のオン／オフを切り替える

RECモードで電源を入れたとき、カメラが記録している画像を起動画面として、【液晶モニター】に約2秒間表示するかどうかを切り替えることができます。【電源ボタン】または【📷】(REC)を押したときのみ表示されます。【▶】(PLAY)を押したときは表示されません。

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。

2. “設定”タブ→“起動画面”と選び、【▶】を押します。

3. 【◀】【▶】で起動画面にしたい画像を選びます。

• 設定可能な画面は、静止画および、2秒以下、200KB以下のムービー画像です。

4. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。

入：設定時に表示していた撮影画面を起動画面として表示します。

切：起動画面は表示しません。

重要! • 起動画像に設定した撮影画像(静止画／ムービー画像)は、起動画像メモリーに登録されます。このメモリーには、画像は一つしか登録できません。起動画面を別の撮影画像に変更すると、メモリー内の画像は上書きされてしまいますので、変更する前の撮影画像に戻すときは、変更する前の画像データが必要となります。また、起動画像に登録した撮影画像(静止画／ムービー画像)を、設定画面から消去することはできません。

エンディング画面に表示する画像を設定する

カメラの電源が切れる前に、カメラに記録した画像をエンディング画面として表示する機能です。カメラで撮影した静止画や動画をエンディング画面として設定できます。

エンディング画面に表示する画像を設定する

1. カメラをUSBケーブルでパソコンと接続します(108ページ)。

2. エンディング画面として使用する画像データを、内蔵メモリーのルートディレクトリ(第一階層)に入れます。



Windowsの場合



Macintoshの場合

• ご使用のパソコン設定が「拡張子を表示しない。」になっていると拡張子は表示されません。例：CIMG0001

• メモリーカードをご使用の場合は、カメラからカードを抜いてからファイルをコピーしてください。

3. 画像データのファイル名を次のように変更します。

静止画の場合：ENDING.JPG

動画の場合　：ENDING.AVI



Windowsの場合



Macintoshの場合

• ご使用のパソコン設定が「拡張子を表示しない。」になっている場合は、拡張子(.JPGや.AVI)を入れないでください。例：ENDING

以上で設定が完了しました。内蔵メモリーをお使いの場合でもメモリーカードをお使いの場合でも【電源ボタン】を押して電源が切れる前にエンディング画面が表示されます。

重要! • 静止画(JPEG)、動画(AVI)のみ設定可能です。
• カメラで撮影した画像がエンディングの対象となります。他の画像が入っているとエンディング機能が動作しない場合があります。
• 内蔵メモリーをフォーマットするとエンディング画面に設定されたファイルも削除されます。
• 静止画と動画の両方がエンディング画面として設定されている場合は動画がエンディング画面として選択されます。
• エンディング画面を途中で止めることはできませんので、動画をエンディング画面に設定される場合は、時間の短いものをおすすめします。

エンディング画面に表示する画像の設定を解除する

1. カメラをUSBケーブルでパソコンと接続します(108ページ)。

2. 内蔵メモリーに入れたENDING.JPGまたはENDING.AVIのファイル名を変更するか、画像データを削除します。

アラームを鳴らす

指定した時刻にアラームを鳴らし、同時に指定した画像を表示できます。最大3つの時刻を設定できます。

アラームを設定する

1. PLAYモードにして【MENU】を押します。

2. "再生機能"タブ→"アラーム"と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で設定したいアラームを選び、【▶】を押します。

4. 【◀】【▶】で項目を選び、【▲】【▼】で設定内容を選びます。
- 時刻、1回／毎日、オン／オフが設定できます。

5. 【DISP】を押します。
- ここで【SET】を押してもアラームの設定を終えることができます。

6. 【◀】【▶】で表示したい画像を選び、【SET】を押します。

7. 内容を確認して【SET】を押します。
- アラームの優先順は設定1、設定2、設定3です。

アラームを止める

アラームは電源をオフにした状態で、設定した時刻になると約1分間鳴り続けます。その後、電源オフの状態に戻ります。途中で止めたい場合は、何かボタンを押してください。

重要! • アラームは次の場合は鳴りません。
－電源がオンになっている
－USB通信中

日時を設定し直す

日時を設定し直したいときは、ホームタイム（自宅の日時）を設定してから、日時の設定を行います。

重要! • 日時の設定を行う前にホームタイムを自分の住んでいる地域に正しく設定しないとワールドタイム（99ページ）の日時が正しく表示されませんのでご注意ください。

ホームタイムの都市を設定し直す

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。

2. "設定"タブ→"ワールドタイム"と選び、【▶】を押します。
- 現在設定されている内容が表示されます。

3. 【▲】【▼】で"自宅"を選び、【▶】を押します。

4. 【▲】【▼】で"都市"を選び、【▶】を押します。

5. 【▲】【▼】【◀】【▶】で自宅の地域を選び、【SET】を押します。

6. 【▲】【▼】で自宅の都市を選び、【SET】を押します。
- 日本で使う場合は"Tokyo"を選んでください。

7. 【SET】を押して、設定を終了します。

ホームタイムの日時を設定し直す

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。

2. "設定"タブ→"日時設定"と選び、【▶】を押します。

3. 日付と時刻を合わせます。
【▲】【▼】：カーソル（選択枠）の部分の数字などを変えます。
【◀】【▶】：カーソル（選択枠）を移動します。
【DISP】：12時間表示と24時間表示の切り替えができます。

4. 【SET】を押して、設定を終了します。

日付の表示スタイルを切り替える

画面に表示される日付の表示スタイルを3通りの中から選ぶことができます。

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。

2. "設定"タブ→"表示スタイル"と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。
例）2003年12月24日
年／月／日：03/12/24
日／月／年：24/12/03
月／日／年：12/24/03

ワールドタイムを表示する

購入時に設定した自宅の日時とは別に、海外旅行などで訪問する都市の日時を1都市選んで表示することができます。世界162都市（32タイムゾーン）に対応しています。

ワールドタイムを表示させる

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。

2. "設定"タブ→"ワールドタイム"と選び、【▶】を押します。
- 現在設定されている内容が表示されます。

3. 【▲】【▼】で"訪問先"を選びます。
自宅　：購入時に設定した自宅の日時を表示します。
訪問先：訪問先として設定した都市の日時を表示します。

4. 【SET】を押して、設定を終了します。

ワールドタイムを設定する

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。

2. "設定"タブ→"ワールドタイム"と選び、【▶】を押します。
- 現在設定されている内容が表示されます。

3. 【▲】【▼】で"訪問先"を選び、【▶】を押します。
- 自宅の都市について設定する場合は、"自宅"を選びます。

4. 【▲】【▼】で"都市"を選び、【▶】を押します。

5. 【▲】【▼】【◀】【▶】で訪問先の地域を選び、【SET】を押します。

6. 【▲】【▼】で訪問先の都市を選び、【SET】を押します。
- 現在設定されている内容が表示されます。

7. 【SET】を押して、設定を終了します。

サマータイムを設定する

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。

2. "設定"タブ→"ワールドタイム"と選び、【▶】を押します。
- 現在設定されている内容が表示されます。

3. 【▲】【▼】で"訪問先"を選び、【▶】を押します。
- 自宅の都市について設定する場合は、"自宅"を選びます。

4. 【▲】【▼】で"サマータイム"を選び、【▶】を押します。

5. 【▲】【▼】でサマータイムの設定を選びます。
入：サマータイムになります。
切：通常の時刻になります。

6. 【SET】を押します。
- 現在設定されている内容が表示されます。

7. 【SET】を押して、設定を終了します。

表示言語を切り替える

画面のメッセージを10の言語の中から選ぶことができます。

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。

2. "設定"タブ→"Language"と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】【◀】【▶】で設定内容を選び、【SET】を押します。

日本語	：日本語
English	：英語
Français	：フランス語
Deutsch	：ドイツ語
Español	：スペイン語
Italiano	：イタリア語
Português	：ポルトガル語
中國語	：中国語（繁体）
中国语	：中国語（簡体）
한국어	：韓国語

【📷】(REC)／【▶】(PLAY)の動作を設定する

【📷】(REC)や【▶】(PLAY)を押しても電源が入らないようにしたり、【📷】(REC)や【▶】(PLAY)を押して電源を切ることができるように設定することができます。

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。

2. "設定"タブ→"REC/PLAY"と選び、【▶】を押します。

3. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。

パワーオン	：【📷】(REC)や【▶】(PLAY)を押すと、電源が入ります。
パワーオン/オフ	：【📷】(REC)や【▶】(PLAY)を押して、電源を入れたり切ったりできます。
切	：【📷】(REC)や【▶】(PLAY)を押しても、電源は入りません。

重要!
- "パワーオン/オフ"に設定しているときは、RECモードで【📷】(REC)を押した場合とPLAYモードで【▶】(PLAY)を押した場合に電源が切れます。
- RECモードで【▶】(PLAY)を押したときはPLAYモードに、PLAYモードで【📷】(REC)を押したときはRECモードに切り替わります。

参考
- 初期設定は、"パワーオン"となります。

内蔵メモリーをフォーマットする

内蔵メモリーをフォーマットすると、内蔵メモリーの内容がすべて消去されます。

重要!
- 内蔵メモリーをフォーマットすると、二度とデータを元に戻すことはできません。フォーマット操作を行う際は、本当にフォーマットしてもよいかどうかをよく確かめてから行ってください。
- ファイルデータにメモリープロテクト（84ページ）をかけていても、内蔵メモリーをフォーマットすると、すべてのデータが消去されます。
- お気に入りに登録した画像（91ページ）や、ベストショットモードでカスタム登録した内容（58ページ）や、起動画面（95ページ）、エンディング画面（95ページ）についても消去されますのでご注意ください。

1. 本機にメモリーカードが入っていないことを確認します。
- もしもメモリーカードが入っている場合は、取り出してください（105ページ）。

2. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。

3. "設定"タブ→"フォーマット"と選び、【▶】を押します。

4. 【▲】【▼】で"フォーマット"を選び、【SET】を押します。
- フォーマットを実行しないときは、"キャンセル"を選んでください。

メモリーカードを使用する

本機は、市販のメモリーカード（SDメモリーカードまたはMMC〈マルチメディアカード〉）を使用することにより、記録用のメモリーを拡張することができます。また、内蔵メモリーからメモリーカードに、またはメモリーカードから内蔵メモリーにファイルをコピーすることもできます。



- ファイルが記録されるメモリーは、次のように自動的に切り替わります。

メモリーカードを入れていないときは	→	内蔵メモリーに記録されます。
メモリーカードを入れているときは	→	メモリーカードに記録されます。

- メモリーカードを入れた状態で内蔵メモリーを使用することはできません。

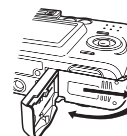
重要!
- メモリーカードは必ずSDメモリーカードまたはMMC（マルチメディアカード）を使用してください。他のメモリーカードをお使いの場合は動作保障できません。また、動作確認を行ったメモリーカードについては、カシオホームページ（http://www.casio.co.jp/）をご覧ください。
- メモリーカードを使う際はメモリーカードの取扱説明書もあわせてお読みください。
- カードの種類によって処理速度が遅くなる場合があります。
- SDメモリーカードには、書き込み禁止スイッチがあります。誤って消去する不安があるときは使用してください。ただし、撮影・フォーマット・消去時は解除しないと各操作が実行できません。
- 静電気、電気的ノイズ等により記録したデータが消滅または破壊することがありますので、大切なデータは別のメディア（CD-R、CD-RW、MOディスク、ハードディスクなど）にバックアップして控えをとることをおすすめします。

メモリーカードを使う

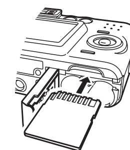
重要!
- メモリーカードの抜き差しは、電源を切った状態で行ってください。
- カードには、表裏、前後の方向があります。無理に入れようとすると破損の恐れがあります。

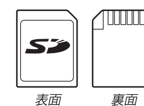
メモリーカードを入れる

1. 本体側面の【電池カバー】を押しながら、矢印の方向にスライドさせて開きます。



2. メモリーカードの裏面を上（【液晶モニター】側）にして、【メモリーカード挿入口】にしっかり押し込みます。





表面　　裏面

3. 【電池カバー】を図のように矢印の方向に押しつけながら、スライドして閉めます。

